

競技かるた マナーブック



一般社団法人全日本かるた協会

目次

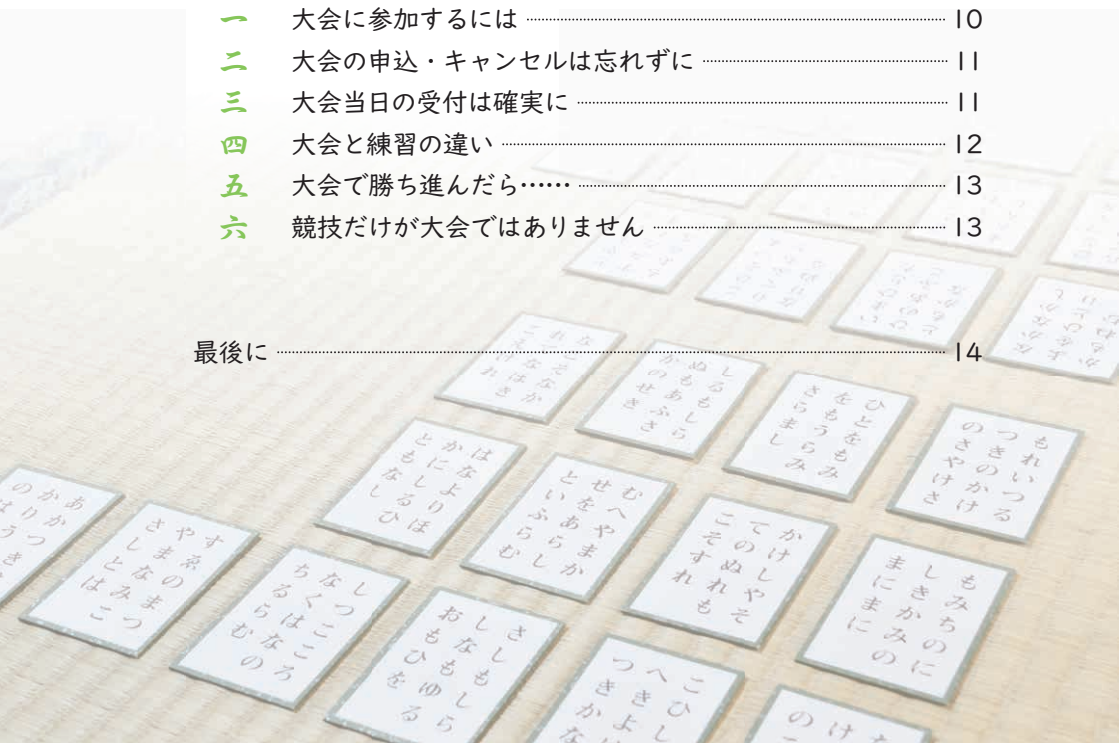
基本編 ～普段の練習から気をつけること～

| | | |
|---|----------------|---|
| 一 | 礼に始まり、礼に終わります | 4 |
| 二 | 試合中の私語厳禁 | 4 |
| 三 | 札は丁寧に扱います | 5 |
| 四 | 素振りで畳をたたかない | 5 |
| 五 | 札の整理、送り札はすみやかに | 6 |
| 六 | 読みを止めてはいけません | 7 |
| 七 | ふさわしい服装で競技します | 7 |

大会参加編 ～大会に参加する際に注意すべきこと～

| | | |
|---|------------------|----|
| 一 | 大会に参加するには | 10 |
| 二 | 大会の申込・キャンセルは忘れずに | 11 |
| 三 | 大会当日の受付は確実に | 11 |
| 四 | 大会と練習の違い | 12 |
| 五 | 大会で勝ち進んだら…… | 13 |
| 六 | 競技だけが大会ではありません | 13 |

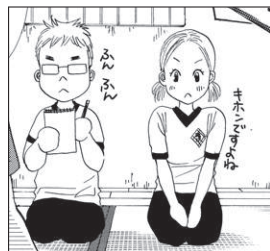
| | |
|-----|----|
| 最後に | 14 |
|-----|----|





基本編

〈普段の練習から気をつけること〉



©末次由紀／講談社

一 礼に始まり、礼に終わります

- ◆ あいさつをしっかり行うことは、競技かるたの基本です。
- ◆ 試合開始時と終了時に、相手と読手に必ずあいさつをしますが、会場に来た時も、「よろしくお願ひします」

帰る時も

「ありがとうございました」

とあいさつしましょう。



©末次由紀／講談社

- ◆ 自分の脱いだ靴・スリッパを揃えるなどの基本的なマナーも守りましょう。

二 試合中の私語厳禁



©末次由紀／講談社

試合を見ている保護者・
引率の方も全員
ご協力お願いします！

- ◆ 試合をしている会場内では、おしゃべりをしてはいけません。
- ◆ 札が読まれ始めたら、会場にいる人も、全員読みに集中し、音をたてないようにします。
- ◆ 下の句から上の句にかけての余韻（よいん・約3秒）に入ってから、一切の音をたててはいけません。動きも息も止めます。
- ◆ 携帯電話の電源はオフにするか、バイブレーションも鳴らない設定にします。

三 札は丁寧に扱います

- ◆ 札の裏に書かれている記号や番号が揃っているか、自分の手元に 25 枚あるか確認してから並べ始めます。
- ◆ 横 87cm 以内、縦 3 段にきちんと並べます。
- ◆ 送り札は、まっすぐ相手に向けて送ります。
- ◆ 出札はかるたを取る手の逆側の後方に裏返し、一つの山にきちんと重ねて置きます。どちらが取ったかに関わらず、どちらの山に置いても構いません。
- ◆ 飛んできた札を返すときには丁寧に返します。
- ◆ 終了後も相手と協力して、記号や番号が揃っているか、50 枚あるかを確認します。



©末次由紀／講談社

札を投げてはいけません！

四 素振りで畳をたたかない



©末次由紀／講談社

- ◆ 試合開始 2 分前までは、素振りをしたり、手を振ったり、畳をたたいたりしてはいけません。
- ◆ 試合開始 2 分前が告げられると、素振りができます。素振りをした手と畳が当たり、音がするのは仕方ありませんが、左のイラストのように畳をバンバンたたいてはいけません。
- ◆ 試合中も同様です。大きな音がしない素振りを心掛けます。

五 札の整理、送り札はすみやかに

- ◆ 札を払ったら、立ち上がってすぐに取りに行きます。
- ◆ 取りに行くとき、他の対戦者の前（並べたある札の上）を通過してはいけません。
- ◆ 札は両手を使って、すばやく美しく並べます。
- ◆ 立てひざや中腰で、札を並べたり、送り札をしてはいけません。相手や札に足先を向けないようにします。



©末次由紀／講談社



©末次由紀／講談社

- ◆ 相手が並べているときは、読手に見えるように、手をまっすぐにあげ、読みの開始を待ってもらいます。
- ◆ 送り札はすみやかに送ります。送り札を考えるために読みを待ってもらってはいけません。
- ◆ 札の移動を行う場合、相手にはっきりと伝えます。伝えられた場合は、「はい」と確認の返事をします。
- ◆ 頻繁に札を移動してはいけません。
- ◆ どちらが取ったかは、お互いの話し合いで決定します。相手の言っていることを理解、尊重しあって、かるた道の精神をもって、短時間でゆずり合って解決します。
- ◆ 最後に相手陣の札を取ったときは、自陣にある最後の1枚を必ず送り、自陣を0枚にしてから、あいさつをして、試合を終了します。

六 読みを止めてはいけません

- ◆読みが始まった直後に札がなくなっていることや、札の位置の違いに気づいても、選手は、読みを止めてはいけません。そのまま次の札が読み上げられるのを待ちます。
- ◆読みと読みの合間におやみに立ちあがるなど、進行の妨げになるような行為をしてはいけません。

七 ふさわしい服装で競技します

- ◆競技かるたの正装は、和装で袴（はかま）をつけます。正装が義務付けられている大会もあります。
- ◆普段の練習や大会では、Tシャツ・トレーニングウェア・ジャージなどの動きやすい服装で競技します。
- ◆動くとき音がする服装、対戦相手が気になるような服装・アクセサリなどは着用してはいけません。

競技規程(ルール)で禁止されているものもあります。必ず確認して下さい。

ふさわしくない例

- ショートパンツ
- ミニスカート
- ノースリーブ
- 胸元が開いたTシャツ
- 相手の目の前で揺れるもの（リボン、ひも、ネックレスなど）

- ◆けがをしない、相手にけがをさせないよう、爪は短く切りそろえ、利き手の指輪や腕時計、ミサンガなどは外しておきます。



©末次由紀/講談社

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

大会参加編

（大会に参加する際に注意すべきこと）



一 大会に参加するには

- ◆ 百首をすべて覚え、動いた札を元の位置にきちんと並べられるようになることはもちろん、このマナーブックの「基本編」を理解してから、大会に参加しましょう。
- ◆ 競技規程（ルール）はしっかりと理解しておく必要があります。詳しくは協会ホームページに書かれています。
<https://www.karuta.or.jp>
- ◆ 競技かるたは実力によって級分けされています（A～E級）。上の級で出場するには、大会で入賞して段位を取らなければなりません。（段位を取得するには段位料が必要です）

～ 級と段位 ～

令和4年4月以降、次のようになります。

- A級 四段以上
- B級 参段（令和4年3月までは貳段も含む）
- C級 貳段（令和4年3月までは初段も含む）
- D級 初段（令和4年3月までは無段も含む）
- E級 無段（大会に初めて参加する人はまずE級から）

～ 大会の種類 ～

- **主催大会**
全日本かるた協会が主催する大会です。
（名人位・クイーン位決定戦など）
- **公認大会**
全国各地で行われる、全日本かるた協会公認の大会です。
成績により昇段資格が得られます。
- **後援大会**
各都道府県かるた協会などが主催する大会です。
成績により昇段資格が得られるとは限りません。

二 大会の申込・キャンセルは忘れずに

- ◆大会の案内をよく読み、申込方法、締め切り、参加料の支払い方法、会場、集合時間などを必ず確認してから申し込みます。
- ◆大会当日までに、体調不良などで大会に参加できなくなったときは、必ず申込先へ参加キャンセルの連絡をします。
あなたがキャンセルの連絡をすることで、出場できるようになる人がいるかもしれません。必ずキャンセルの連絡をします。
- ◆大会当日、急に参加できなくなったときや遅刻しそうなときには、大会の案内に書いてある大会当日の連絡先へ連絡します。

三 大会当日の受付は確実に

- ◆遅刻しないよう時間に余裕をもって行動します。
会場についたら締切時間までに、まず受付をすませます。
受付ではあいさつをして、自分の名前や会・学校の名前を名乗ります。
- ◆着替えをして開会式に必ず参加します。
開会式では注意事項をしっかりと理解します。
特に、自分が試合をする場所や、開始時刻はしっかりと聞き、場所や時刻を間違えないようにします。

場所や時刻を間違えた場合、あなたの到着を待たずに試合が始まります。
暗記時間が始まって5分たっても着席しない場合は棄権とみなされます。
- ◆開始前に点呼がある場合は、はっきりと返事をします。

四 大会と練習の違い

- ◆大会では、役員が対戦カードを対戦ボードに置いて対戦相手を決めます。
自分の座る席の番号と対戦相手の名前を確認し、すみやかに着席します。
- ◆着席時にお互いの名前を確認し、対戦相手が間違いないか確認します。
間違えた相手と対戦してしまった場合は、両者失格となる場合がありますので注意します。
- ◆かるたの試合には審判がつきませんが、状況によってつくことがあります。



©末次由紀／講談社

自分の試合に審判がついた場合は、審判に「お願いします」とあいさつします。

©末次由紀／講談社



おたがいに礼



審判に礼

終了時はお互いにあいさつした後、審判、読手の順にあいさつします。

- ◆審判がついていて、どちらが取ったかで話がかからない場合は、審判に判定を求めることができます。
- ◆試合が終わったら、使用した札を点検します。
札が50枚あるか、札の裏に書かれている記号や番号が揃っているかを2人で確認します。
札を点検するとき、音をたててはいけません。
- ◆勝った方が、取り札を持って記録席へ報告に行きます。
会、氏名、対戦結果を報告します。

「〇〇会の△△です。□枚で勝ちました」

五 大会で勝ち進んだら……

- ◆ 試合を勝ち進み、入賞した場合は表彰があります。
入賞したかわからない場合は、役員に確認しましょう。
- ◆ できる限り閉会式で表彰を受けます。閉会式の開始時間に遅れないように集合します。
- ◆ 入賞した場合で、閉会式前に帰る場合は、先に帰ることを役員に伝え、必ず、大会本部（役員室）などで表彰を受けるようにします。
- ◆ 閉会式が終われば、直ちに大会会場を出ます。
大会役員へ「今日はありがとうございました」とあいさつして帰りましょう。

六 競技だけが大会ではありません

- ◆ 会場設備、備品などを汚したり、壊したりしないように注意します。
万が一、汚したり壊したりした場合は大会本部（役員室）へ連絡します。
- ◆ 自分の試合が終わった後に、他の人の試合を見る場合は試合をしている人や役員の迷惑にならないようにします。
- ◆ ごみは必ず持ち帰ります。
- ◆ 忘れ物をしないように注意します。
- ◆ 靴のはき間違いないよう注意します（目印をつける等）。
- ◆ 会場外で、大勢で集まって大声で話すなど、近隣住民の迷惑になるような行為は慎みます。

ちははやふる

未次由紀

定価：495円(税込)

戦ってる

憧れていた

競技戦の中で自由に

絶望して相手と

速闘中の名人・雨防とクイーン・詩輪に挑戦している千早と新。互いの強気と弱気、意地とプライドがぶつかる第四戦がついに決着——!!

ちよこし
運命がちがっても

それでも
この席に
座るのはおれや

クライマックス

白熱の名人・クイーン戦は第五試合へ

8月12日(木)発売!

47



一般社団法人

全日本かるた協会

競技かるたマナーブック〈令和3年8月〉

制作：一般社団法人 全日本かるた協会 普及指導部

印刷・製本：岩岡印刷株式会社

協力：株式会社講談社 Kiss・BE LOVE 編集部

表紙イラスト：末次由紀

- 本書の著作権は一般社団法人 全日本かるた協会が保有します。
- 無断複製・転載・放送等は禁止します。